

介護予防教室の開催場所や内容が、 一目でわかるマップを作成する考えは

より多くの高齢者に介護予防に取り組んでもらえるよう、
マップの作成も含め検討していく



内藤 喜久枝
かがやき

高齢者がいきいきと暮らせる田原市の 実現について

- 問** 運動機能の衰えによるフレイル（※）対策として開催している体操教室の状況は。
- 答** 現在、市内27か所で体操教室を開催し、60～100歳の約450人が参加している。
- 問** どこで、どんな教室をやっているのか、一目でわかる市内のマップを改めて作成する考えは。
- 答** より多くの高齢者に介護予防に取り組んでもらえるよう、マップの作成も含め検討していく。
- 問** 要介護状態になる可能性の高い高齢者を把握するための基本チェックリストを送付する対象年代を拡大する考えは。
- 答** チェックリストの対象者の拡大を検討し、介護予防活動の充実につなげる。

※フレイル（虚弱）
加齢により心身が古い衰えた状態。

田原福祉専門学校の民営化と今後の展望について

- 問** 民営化に向けた福寿園独自の事業内容は。
- 答** 地域貢献の一つとして、学食（カフェ）の建設を予定している。高校生とのカフェメニューのコラボや地域の方々がカフェに集い、学校との相互活用が図られる可能性にも期待が持てる。
- 問** 民営化後の市の人的な支援は。
- 答** これまでの学校運営の一貫性が保たれ、安定した教育の提供が可能となるよう一定期間人的支援を行う。派遣する教員等を段階的に減らしていくかなど、時期を決めて協議する。
- 問** 市からの補助金についての考えは。
- 答** 3年を目安とし、見直しを図る。また、補助金の内容としては、運営に対するものや特待生のような入学学生に対するものなど考えられる。

田原市の受動喫煙防止への取り組みについて

公共施設における受動喫煙防止対策推進会議の成果は
敷地内禁煙施設の増加、屋外喫煙場所の減少や移設が進んだ



廣中 清介
無派不撓クラブ

- 問** 公共施設における受動喫煙防止対策推進会議を進めたことで、現場での対策は進んだか。
- 答** 敷地内禁煙に変更した公共施設の増加、屋内禁煙の徹底、屋外喫煙場所の減少や移設が進んだ。
- 問** 市民館や公園の受動喫煙防止対策はどうか。
- 答** 市民館や公園の受動喫煙防止対策はどうか。特定屋外喫煙場所を設けず敷地内完全禁煙とした市民館が4館に増加した。公園では看板による周知で敷地内禁煙が進んでいる。
- 問** 健康マイレージは、今現在も禁煙推進のために活用されているか。
- 答** 30日以上禁煙を、健康マイレージの健康づくりの目標にすることができる。